

# 補完

空白のレコードに直前の空白ではないレコードの値を入力する

## ◇機能

《補完》は、対象フィールドのレコードが空白の場合、直前の空白ではないレコードの値を入力する機能です。

取引日	担当者	金額
2023/01/20	101	400
		600
	102	500
		700
		800
		300

取引日	担当者	金額
2023/01/20	101	400
2023/01/20	101	600
2023/01/20	102	500
2023/01/20	102	700
2023/01/20	102	800
2023/01/20	102	300

取引日と担当者を補完する

## ◇メニュー

《加工》-《補完》

## ◇設定内容

補完

テーブル名: 売上データ2017上期

補完フィールド

フィールド名	データ型
売上番号	C
計上日	D
商品No	C
数量	N
仕入単価	N
販売単価	N
金額	N
営業担当者	C
入力担当者	C
入力日時	D

フィールド選択

その他出力フィールド

フィールド名	データ型
売上番号	C
計上日	D
商品No	C
数量	N
仕入単価	N
販売単価	N
金額	N
営業担当者	C
入力担当者	C
入力日時	D

フィールド選択

IF条件

保存先

キャンセル 実行

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
2. 補完フィールド (必須)
  - : フィールドの一覧で、補完するフィールドをクリックして選択します。
    - フィールドは、複数選択できます。
    - 選択した順に番号が表示され、表示する列の順番が決まります。
3. フィールドの全選択/全解除
  - : チェックボックスのオン/オフで、すべてのフィールドの選択/解除が行えます。
4. 《フィールド選択》ボタン
  - : 「フィールドの選択」画面を開き、フィールドの選択・並び順の変更を行うことができます。
5. その他出力フィールド (任意)
  - : 補完フィールドの他に、補完の結果に表示したいフィールドがある場合は、フィールドの一覧からクリックで選択します。
    - 「補完フィールド」で選択しているフィールドは、補完の結果に表示されます。
6. IF条件 (任意) : 補完条件を設定する場合は、「IF条件」に条件式を入力します。
7. 《式ビルダー》アイコン : 「IF条件」の条件式を入力するために、式ビルダーを開いて使用できます。
8. 保存先 (必須) : 実行結果の出力先となる新規テーブル名を入力します。
  - テーブル名の長さは、64文字までです。
  - ファイルの保存先は、プロジェクトが保存されているフォルダの「04\_table」フォルダです。
  - 《保存先》ボタンで、保存するフォルダを変更できます。ただし、使用可能なフォルダは、プロジェクトが保存されているフォルダの「04\_table」フォルダおよびそのサブフォルダのみです。
9. 《実行》ボタン : 実行します。
10. 《キャンセル》ボタン : 実行せず画面を閉じます。

#### ◇操作ログ

**COMPLEMENT ON** [補完フィールド1] [補完フィールド2] …または**ALLFIELDS OTHER** [その他出力フィールド1] [その他出力フィールド2] …または**ALLFIELDS IF 条件式 TO 出力先**